

No.	009	—	2001	事務事業名	はり、きゅう及びマッサージ施術費助成事業	細事務事業名		公的関与	5				
PLAN	課名	長寿介護課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	tvojukaigo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	平成 16 年度 ~ 期間認定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(2) 福祉サービスの提供と生きがいづくり				
	事業の対象	東温市在住の65歳以上の高齢者				根拠法令	東温市はり、きゅう及びマッサージ施術費助成条例						
	事業の目的	最終的	より多くの高齢者に、はり、きゅう及びマッサージ施術費を助成し、疾病の予防及び健康の維持を図ります。			今年度	多くの高齢者にご利用いただくことを目標に、広報紙やホームページで制度の周知を図り、昨年度よりも実績増を目指します。						
	活動内容	①	広報紙やホームページにおいて市民への周知を図ります。			④	助成対象は、月3回を限度とし、施術日から6か月以内の施術費1回につき1,000円を上限とします。						
		②	施術費助成請求書を受け付けます。			⑤	後期高齢者医療広域連合から補助金の交付を受けます。						
		③	内容を審査、確認した上で助成金を支給します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標			
		利用延べ件数		120件/月×12月=1,440件/年。ただし、令和2年度は過去の実績を踏まえ、115件/月で計算しています。		件	目標 1,440	1,440	1,380	1,440			
					実績 1,372	1,368							
					目標								
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	扶助		費					
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	206 千円	213 千円	0 千円								
		一般財源	1,166 千円	1,155 千円	1,380 千円								
	計(A)	1,372 千円	1,368 千円	1,380 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	613 千円	0.100 人	624 千円	0.100 人	625 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		1,985 千円	1,992 千円	2,005 千円									
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	介護予防及び高齢者福祉の観点から、施術費の助成は必要です。												
有効性	当市で類似・重複した事務事業はなく、本事業を継続利用している方も多いため、高齢者福祉の推進に寄与しています。												
達成度	サービス利用が継続的に行われており、事業目標は達成できているといえます。												
効率性	健康年齢の伸長により、介護保険費などの抑制に繋がるため、効率的に執行できています。												
当面の課題	依然として利用率が低いことから、市民への制度周知を図り、高齢者の健康保持・増進や介護予防の充実等による高齢者の健康年齢の伸長を推進する必要があります。												
改訂計画	定期的な広報誌への掲載を行うことで市民サービスの情報公開等周知徹底を図ります。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	はりきゅう等の施術は高齢者の健康維持や介護予防の一環につながると考えることから、積極的にこの事業を利用し、市民自らが健康維持に努めていただきたいと思います。そのため、この事業について多くの高齢者の方から知っていただくことが重要であると考えことから、周知の方法を検討する必要があります。												

No.	009	—	2002	事務事業名	緊急通報体制整備事業	細事務事業名		公的関与	5				
PLAN	課名	長寿介護課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	tvojukaigo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	平成 16 年度 ~ 期間認定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(2) 福祉サービスの提供と生きがいづくり				
	事業の対象	おおむね75歳以上の独居老人等で、緊急事態の際に、電話による連絡を取ることが困難な方				根拠法令	東温市緊急通報装置設置要綱						
	事業の目的	最終的	事業を必要とする方全員に制度を利用いただき、緊急時の連絡体制の確保及び孤独死の防止を図ります。			今年度	緊急時の連絡体制を構築することで、高齢者の安全・安心な生活の確保と高齢者福祉の増進を図ります。						
	活動内容	①	在宅福祉サービス利用申請書を受け付けます。			④	所得税課税状況に応じて、個人負担金を徴収します。						
		②	必要な事項を調査し、利用の可否を決定します。			⑤	毎月委託業者から委託料の請求があり、支払の手続をします。						
		③	決定後、委託業者が機器の設置を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標			
		利用延べ件数		125件/月×12月=1,500件。		件	目標 1,500	1,500	1,500	1,500			
					実績 1,394	1,444							
					目標								
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	委託		費					
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	248 千円	187 千円	153 千円								
		一般財源	3,213 千円	3,332 千円	3,629 千円								
	計(A)	3,461 千円	3,519 千円	3,782 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.149 人	914 千円	0.149 人	930 千円	0.149 人	931 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		4,375 千円	4,449 千円	4,713 千円								
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	独居高齢者等に機器を貸与し、緊急時の連絡手段の確保を行うことにより、安心して生活できる環境を確保するため必要です。												
有効性	本事業を継続して利用している方が多く、安心して生活できる環境を整備することにより高齢者福祉の増進に寄与しています。												
達成度	サービスの利用が継続的に行われており、事業目標は達成できていると言えます。												
効率性	他の高齢者見守り制度との連携を図り、効率的に運用する必要があります。												
当面の課題	緊急時の連絡手段の確保が必要な独居老人の情報を収集し、緊急通報体制の構築を図ることで、安心・安全な暮らしのできる生活環境の整備を推進する必要があります。												
改 革 計 画	制度の周知を図り、緊急時の連絡手段の確保が必要な独居老人を適正に審査し、適切な高齢者福祉サービスを提供していきます。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	独居高齢者が安心して自宅で生活できることを目的に愛媛総合警備保障(株)に委託し、事業を実施しており、有事の際の連絡手段の確保また孤独死の防止を図ることができています。事業内容についても非常に充実し、有事の際には委託業者が駆けつけ対応するなど、事業効果はとて高いと認識しています。事業を必要とする方にご利用いただくため、今後も事業の周知に力を入れる必要があります。												

No.	009	—	2003	事務事業名	地域包括支援センター活動支援事業	細事務事業名		公的関与	5					
PLAN	課名	長寿介護課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	tvojukaigo@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	平成 16 年度 ~ 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(2) 福祉サービスの提供と生きがいづくり					
	事業の対象	市内の社会福祉法人（喜久寿及び愛隣園）に対して業務を委託し、地域包括支援センターの事業活動を支援します。				根拠法令	東温市地域包括支援センター活動支援事業要綱							
	事業の目的	最終的	地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を目的に、利用者を包括的に支援する地域包括支援センターが住民に身近な受付窓口（ランチ）を設置し、地域の高齢者福祉の推進を図ります。			今年度	地域包括支援センターが設置しているランチ（地域住民からの相談を受け付け、集約し、地域包括支援センターに繋ぐための窓口）を、十分に活用し、地域の高齢者福祉の推進を図ります。							
	活動内容	①	要介護等高齢者、特定高齢者及びその家族等からの在宅介護等に関する各種相談・支援に関して総合的に応じます。			④	保健福祉サービスの利用に係る申請手続きの代行、適用調整等を行います。							
		②	各種の保健福祉サービス及び介護サービスの有無、利用方法等に関する情報の提供及び啓発を行います。			⑤	要介護高齢者及び特定高齢者の実態調査を実施し、利用者基本情報台帳を整備します。							
		③	介護保険制度の利用（住宅改修）に関する相談・助言を行います。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標				
		事務の性質上、指標設定になじまない。				目標	—	—	—	—				
				実績										
				目標										
				実績										
				目標										
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	委託		費						
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考								
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源	5,376 千円	5,376 千円	5,376 千円									
	計（A）	5,376 千円	5,376 千円	5,376 千円										
人件費（B）	正職員工数・経費	0.060 人	368 千円	0.060 人	374 千円	0.060 人	375 千円							
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費（A+B）		5,744 千円	5,750 千円	5,751 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	市内高齢者の相談窓口、高齢者の実態把握調査等を委託しています。また、高齢者に対して、福祉サービスの周知、申請書の提出代行を行い、福祉サービスの推進のために必要です。												
	有効性	高齢者の相談を幅広く受け付け、高齢者にとって必要なサポートや制度を紹介し、安心して暮らせる環境を提供できるため有効です。												
	達成度	委託事業者の訪問面談等各種相談・支援件数にばらつきが見られ、見直しの検討余地がありますが、高齢者福祉の推進に寄与しており、事業目標は達成できていると言えます。												
	効率性	サービスの申請時には、利用者の基本情報の提供を委託しており、円滑な事業運営が推進されています。また、専門のノウハウを保持しているため、効率的な事業運営を実施することができます。												
	当面の課題	在宅で介護サービスや介護予防サービスを受けられる高齢者は年々増加傾向にあり、業務量の増大に対応していく必要があります。												
	改 革 計 画	本事業の人員確保及び委託料の検討を行います。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	地域包括支援センターの窓口として、旧町単位ごとに各1か所ずつ計2法人にセンターの機能を委託し、市民からの各種相談に対応したり、必要に応じて各種サービスにつなげるなど高齢者の身近な窓口として活動していただいております。今後は、相談に応じる中で地域の課題を把握していただくとともに、通いの場への紹介や各種介護予防事業への参加を進めていただくなど、重症化予防につながる活動も併せて実施していただければと考えます。なお、毎月提出される活動報告書については適切な内容の様式に見直す必要があると考えます。													